

## QuickTox™ アフラトキシン テスト

アフラトキシンは主に熱帯地方に生育するカビ *Aspergillus flavus* などにより産生されるマイコトキシン（カビ毒）の一種であり、発ガン性を有することから、食品・飼料への汚染について世界的に監視・規制されています。日本においてもアフラトキシン B1 濃度は食品中で 10ppb、配合飼料中で 10~20ppb と上限基準値が通知されています。

QuickTox アフラトキシンキットは、遺伝子組換え作物 GMO のテストで世界的に著名な EnviroLogix 社が開発したラテラルフローテストで、コーン中のアフラトキシン B1、B2 を目視により 20ppb 基準でスクリーニング判定ができます。

ラテラルフローテストでは、専用のスキャナリーダーシステムを用いてコーン中のアフラトキシン、フモニシン、DON を定量できる QuickScan システムも用意されています。

（製造：EnviroLogix Inc. 米国）

ver.AS101 122706

商品名	QuickTox™ アフラトキシン テスト 50 本 (3245EL1021)
価格	税別 40,000 円/キット
保管条件	冷蔵 2~8℃、湿気厳禁
製品内容	ラテラルフローストリップ 50 本（耐湿容器） 反応容器 50 個、試料用スポイト 50 個
目的・用途	トウモロコシ中のアフラトキシン B1、B2 のスクリーニング検出
原理・性能	ラテラルフロー（イムノクロマト）法 検出限界は 20ppb
前処理	20 メッシュ相当まで破碎・均一化した試料に対し 2 倍量の 70%メタノール水（あるいは 50%エタノール水）を加え約 90~120 秒間激しく振とうし、静置、上澄みを試料液とする。
操作	ラテラルフローストリップの操作（室温に戻してから必要なストリップをとる） ①反応容器に水と試料抽出液をそれぞれ 150μL ずつ加える。 ②カップ内をよく混ぜてから、ストリップ下端を浸す。 ③5 分後直ちに、テストラインの呈色を目視で確認する。 テストラインが呈色しない＝陽性と判断。
他に必要な試薬器材	水、ミキサー・ミル 1 式、マイクロピペット フタ付きジャー、タイマー



5 分後

